

平成19年度 事務事業評価表	担当	産業環境部 産業振興課	内線等	1234
事務事業名	土地改良区事務事業		事業コード	1. 一般事務事業（ソト事業）
根拠法令等	土地改良法		A 法令	

総合計画での位置付け

基本目標	5. にぎわいと活力あふれるまちづくり	施策名	農林業
------	---------------------	-----	-----

事務事業の内容

対象（受益者）	蒲郡市土地改良区に対し
手 段	補助金を支出し、農業用水の確保、農業生産基盤の整備をすることによって
想定する成果	農業生産性の向上、農業総所得の増大、農業生産の選択的拡大を進め農業構造の改革を図る。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
施設維持管理	施設修理件数 139件	施設修理件数 113件	-
工事施工	機械揚水 1件 アスベスト対策事業 1件	機械揚水 1件 アスベスト対策事業 1件	機械揚水 2件 農道整備 1件 アスベスト対策事業 1件
事務の経過	総代会 2回、理事会 2回、 監事会 2回	総代会 2回、理事会 3回、 監事会 2回	-
土地改良区事業費	66,306千円	67,438千円	74,544千円
土地改良区組合員数	2,351人	2,340人	2,340人

成果指標

成果指標名	農業生産性の向上	組合員費 1人当たりの補助金額
成果指標の説明	土地改良区農地総面積 m^2 / 全組合員数 人	補助金額 円 / 全組合員数 人

事業の進捗状況 (一般 会計) (単位：千円)

	平成18年度決算（実績）				平成19年度決算（実績）				平成20年度予算（計画）			
成果指標	4,448.44 m^2				4,444.91 m^2				4,444.91 m^2			
成果指標	13,342円				14,385円				14,327円			
事業費	事業費	31,367			33,660			33,525				
	人件費	12,454			15,620			15,690				
	(人数)	正規	1.6	非常勤	正規	2.0	非常勤	正規	2.0	非常勤		
	合計	43,821			49,280			49,215				
財源内訳	国											
	県											
	市債											
	その他											
	一般財源	43,821			49,280			49,215				

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	施設管理費及び投資は前年・当年度ともに計画どおり施行された。
経済効率性	1	1	1	1	県市補助金と賦課金で運営している。市と受益者の負担割合は、維持管理費が50%、50%であり、運営費は100%補助である。
事務効率性	2	2	2	2	投入された職員で効率的に実施している。
必要性	3	3	3	3	土地改良区組合員の土地改良事業の継続的維持は、農業経営基盤の根幹である。
小計	8	8	8	8	
施策への貢献度	2	-	2	-	農業生産基盤の整備及び開発を図り、豊川用水の維持管理、ほ場整備事業等の土地改良事業に貢献している。
合計	10	8	10	8	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	農家負担割合について今後、時代に見合った改善が必要である。
------	---	---	---	---	-------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
豊川用水維持管理費賦課金の徴収事務は、土地改良法第36条第1項に規定するとおり受益を受ける豊川総合用水土地改良区が賦課徴収できるので、事務の改善について今後協議していきたい。
上記改善点の実施状況
豊川総合用水土地改良区が直接賦課徴収するように協議したが、事情により不調に終わった。さらに、他の土地改良区のように直接賦課徴収できる方法を検討する。

今後さらに改善すべき点

土地改良区の専任職員1人について、将来を見据えて人材育成する必要がある。

平成21年度予算に反映する項目

なし

今後の方向性

見直し、縮小

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的的事业は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。

